

第35回 近畿作業療法学会

～次世代につなぐ、次世代を担う～

- 会期** 2015年 11月 22日(日)
- 会場** 京都府民総合交流プラザ 京都テルサ
- 学会長** 市田 忍 医療法人栄仁会 宇治おうぼく病院
- 主催** 近畿作業療法士連絡協議会
- 担当** 一般社団法人 京都府作業療法士会

I connect to I lead

The Next Generation Occupational Therapy



ごあいさつ 第35回近畿作業療法学会 学会長 市田 忍

第35回近畿作業療法学会を平成27年11月22日(日) 京都市：京都テルサで開催いたします。

本学会のテーマは「次世代につなぐ・次世代を担う」です。

作業療法士の有資格者は全国で70,000名を超え、近畿二府四県の会員は5,000名を超えています。数は力なりと言われるように、作業療法士の社会的認知度は上がり求められる役割も多様化してきました。一方で、卒前卒後教育の見直しが話題になり、組織率が低下し、急激な変遷を遂げる日本の保健医療介護福祉業界で専門職として社会にさまざまな提言をすることや、自分たちの臨床をより発展させる活動が十分とは言えない状況も見え隠れしています。今回、こういった状況を見つめなおし、つないでいくものや担っていくものが何かを考え実践にうつしていく足掛かりにしたいと思い、さまざまなプログラムを企画しました。

まず、「最前線に立つ/最前線へ発つ」として、作業療法士が活躍しているフィールドを知り必要な知識を学んでいただくために各領域の「最前線」でご活躍中の先生を講師としてお招きしています。一般演題は、口述やポスター発表を通じて、日常の臨床で得た新しい知見に対して活発な意見交換をしていただき翌日からの仕事に反映できるようにしたいと考えています。そして、知識と技術に加え、その背景にあるものも考え深めていくことができるよう、京都大学 こころの未来研究センター所長の吉川左紀子先生に特別講演をお願いしています。1日を通して参加いただくことで、作業療法士としての視野が広がることは間違いありません。

自身の作業療法について一度立ち止まり、振り返り、考える1日を作ってみませんか。秋の京都で皆様をお待ちしています。

- 教育講演**
 - 身障：作業療法とアフォーダンス** 神奈川県立保健福祉大学 玉垣 努先生
 - 精神：精神・認知障害とOTをつなぐ～背景から読み解く～** 佛教大学 苅山 和生先生
 - 発達：学校の巡回相談の実践～みんなで決める子ども達の目標～** 琉球リハビリテーション学院 仲間 知穂先生
 - 老年：生活行為向上マネジメント** 有限会社 なるぞ 谷川 真澄先生
 - 臨床実習：これでよいのか臨床実習指導～現状と今後の展望～** 星城大学 竹田 徳則先生

特別講演 心理学の視点からみた作業療法における「熟達」
京都大学こころの未来研究センター センター長 吉川左紀子先生

演題募集期間 6月15日(月) ▶ 7月31日(金)

事務局連絡先 第二北山病院 作業療法室
〒606-0017 京都府京都市左京区岩倉上蔵町161
TEL:075-791-2137 E-mail:sunny1side1up1@hotmail.com

<http://kinot35.umin.jp/>

